



東北のかなめ

vol.44 (2018.10)

航空自衛隊三沢基地に今年配備された
「F-35A」最新鋭ステルス戦闘機



(平成30年度三沢基地航空祭にて)

【CONTENTS】

- ✓ トピックス：第35戦闘航空団指揮権交代式 etc.
- ✓ 政策広報活動(防衛セミナー、各部隊行事)
- ✓ 日米の絆～米軍と地域との交流
- ✓ お知らせ(平成30年版防衛白書)
- ✓ 「ようこそわが街へ」～山形県小国町～
- ✓ 採用案内
- ✓ 人事異動(幹部紹介)
- ✓ インフォメーション

第35戦闘航空団指揮権交代式（米軍三沢基地）

平成30年7月16日、米軍三沢基地第35戦闘航空団の指揮権交代式が行われ、R・スコット・ジョーブ大佐からクリストファー・W・ストルーヴィ大佐へ指揮権が交代しました。



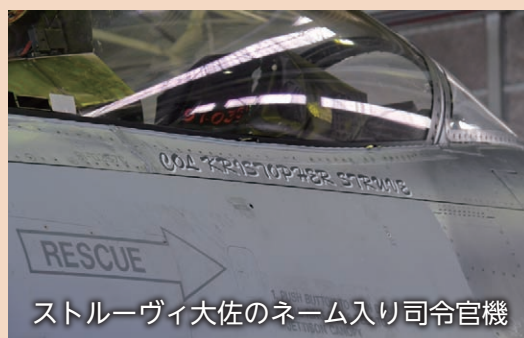
離任したジョーブ大佐



着任したストルーヴィ大佐



ストルーヴィ大佐へ軍旗を授与



ストルーヴィ大佐のネーム入り司令官機

離任するジョーブ大佐は、「日米同盟と日米の友情の深さを信じている」と挨拶し、新司令官のストルーヴィ大佐は、「任務遂行には基地全員の存在が重要であり、最善をつくしてほしい」と隊員に呼び掛けました。

最後に、ストルーヴィ大佐へ名前が張り替えられた司令官機（F-16）が披露され、交代式は終了しました。

平成30年度むつ湾掃海訓練の実施（青森県むつ市）

平成30年7月18日から同月30日までの間、青森県むつ湾において、平成30年度むつ湾掃海訓練が行われました。同訓練には、海上自衛隊及び米海軍による艦艇20隻、航空機10機及び人員約千名が参加しました。

この訓練では、訓練海面内での漁業操業を禁止して行われるため、訓練海面における操業者からのご理解とご協力が必要不可欠であり、東北防衛局は、訓練に先立ち関係漁業協同組合等に対する合同説明会を開催し、結果、ご理解をいただき、むつ湾掃海訓練海面（約82km²）が設定されました。

期間中の7月26日には掃海訓練見学会を開催し、関係者により一層の理解を深めていただきました。



掃海訓練見学会①



掃海訓練見学会②



掃海訓練見学会③



関係者への合同説明会



艦艇内での昼食会



「海自カレー」

平成30年度優秀工事等顕彰状授与式

平成30年7月6日、平成30年度優秀工事等顕彰状授与式を行いました。

東北防衛局では、完成した工事や業務の中から、その目的物の出来形又は品質の優れているもので、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事等として選定し顕彰状を授与していますが、今年度は、次の6社を選定し顕彰状を授与しました。



経塚工業(株)
 (株)青北建設
 谷川設備工業(株)
 (株)中屋敷建設
 (株)福萬組
 富士通ネットワークソリューションズ(株)

顕彰状を授与された各社の皆さま

王城寺原演習場における日米共同訓練（オリエントシールド）への対応



「日米共同訓練現地連絡所」の様子



訓練開始式の様子
 【第9師団提供】



第一線救護訓練の様子
 【第9師団提供】

平成30年8月26日から9月19日までの間、陸上自衛隊王城寺原演習場（宮城県大和町、大衡村、色麻町）において、平成30年度国内における米陸軍との実動訓練（オリエントシールド：注）が行われました。

東北防衛局は、訓練期間中「日米共同訓練現地連絡所」を同演習場内に開設し、関係自治体との連絡調整や訓練に係る情報提供等を行いました。

（注：「オリエントシールド」とは、今回の訓練に付与された訓練名称）

第37回「防衛セミナー in 弘前」開催(青森県弘前市)

平成30年7月28日、青森県弘前市では平成21年度に続き2回目の開催となる防衛セミナーを、「弘前市総合学習センター」で開催しました。当日は、約150名という大勢の方々が来場し、「日本を巡る安全保障を考える」と題した講演に真剣に耳を傾けていました。

本セミナーでは、防衛省防衛研究所主任研究官の阿久津博康氏、陸上自衛隊弘前駐屯地司令の北島一 1 等陸佐がそれぞれ講演しました。



「弘前市総合学習センター」会場入口



阿久津主任研究官の講演



北島弘前駐屯地司令の講演



櫻田宏弘前市長の来賓挨拶



主催者挨拶をする深澤東北局長(当時)



満員となった会場

聴講者からは、「北朝鮮問題についてわかりやすい説明で良かった」「地元の駐屯地を知ることができた」など、様々な感想が寄せられ、今後も、防衛政策や自衛隊の活動等について、国民に広く理解してもらうことを目的に、東北各地で「防衛セミナー」を実施します。

各部隊行事における「政策広報活動」の実施

東北防衛局では、防衛省の主要政策などを地域の方々にご理解いただくため、各部隊の記念行事などの場を利用し、政策広報活動を行っています。

【空自車力分屯基地開庁記念行事】(H.30.7.22)



【空自松島基地航空祭】(H.30.8.26)



【空自三沢基地航空祭】(H.30.9.9)



【海自八戸航空基地祭】(H.30.9.16)



日米交流事業の実施(青森県つがる市)



制作した「かかし」



深澤東北局長(当時)の主催者挨拶



金賞受賞チームの表彰

平成30年7月29日、青森県つがる市立車力小学校の児童及び米陸軍車力通信所の軍人による、日米交流「かかし作り交流プロジェクト2018inつがる」のコンテスト表彰式を同市内むらおこし拠点館「フラット」で行い、つがる市のゆるキャラ「つが～るちゃん」も駆けつけ、お祝いしてくれました。

この表彰式は、去る6月下旬に児童と米軍人が協力して制作した12体のかかしを、表彰式前日まで「フラット」に展示し、来場者が投票、その結果で金賞・銀賞・特別賞を決定したものです。

受賞したチームから「金賞を獲れると思っていたいなかったので、嬉しい」(児童)、「子どもたちが頑張ってくれたおかげ、素敵なかかしが出来上がり、日米で楽しめるイベントに参加できて嬉しい」(米軍人)などの喜びの声が聞かれました。



各チームの表彰



全員で記念撮影



「つが～るちゃん」と記念にパチリ!

東北防衛局は、在日米軍と地域住民との友好関係の架け橋となるべく、今後も日米交流事業を企画します。

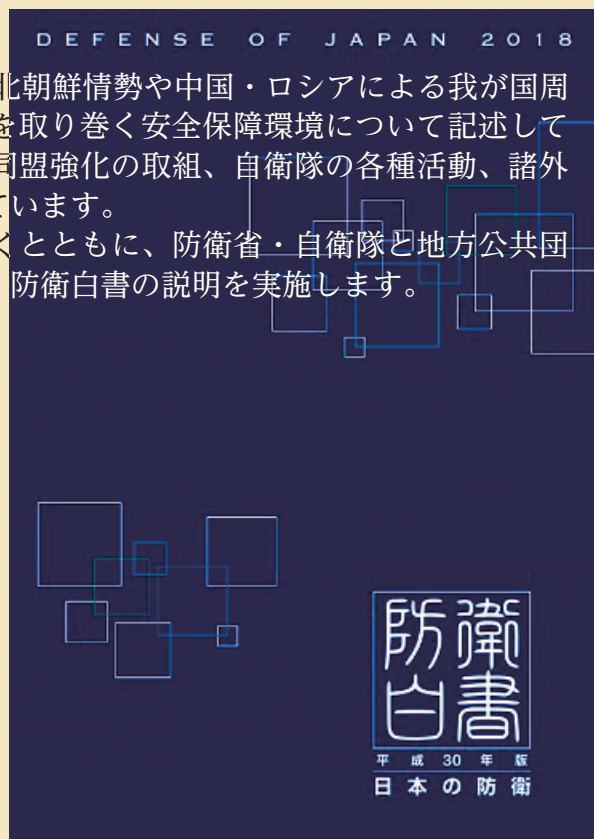
お知らせ(平成30年版防衛白書)

平成30年版防衛白書は、核・ミサイル開発の動向を含む北朝鮮情勢や中国・ロシアによる我が国周辺での活動、宇宙・サイバー空間を巡る現状など、我が国を取り巻く安全保障環境について記述しており、防衛計画の大綱の見直しに係る検討の方向性、日米同盟強化の取組、自衛隊の各種活動、諸外国との防衛協力・交流などについても分かりやすく紹介しています。

東北防衛局では、地方公共団体のご理解を深めていただくとともに、防衛省・自衛隊と地方公共団体との連携強化を図るため、地方公共団体の首長等に対し、防衛白書の説明を実施します。

【平成30年版防衛白書の主な特徴】

- ① 普及促進のための取組
 - ・ ネットCMを通じたPR
 - ・ 民間電子書籍市場での配信(無料ダウンロード可)
- ② 使いやすさの追求
 - ・ 索引の充実(索引用語を昨年比約1.5倍の550語掲載)
- ③ 分かりやすさの追求
 - ・ 巻頭部分の充実(写真や図表を活用し、ビジュアルな形で、防衛省・自衛隊の取組や現場隊員の日々の任務を紹介)
 - ・ AR動画の活用(専用アプリにより、隊員や装備品の動きを視聴可能)



彩りゆたかな白い森 (山形県小国町)

小国町は、山形県と新潟県の県境に位置し、北に朝日連峰、南に飯豊連峰がそびえる自然豊かなでっかい町です。町土の94%にはブナなどを中心とした広葉樹の森が広がり、美しい四季のうつろいが見られます。また、全国有数の豪雪地帯でもあり、降り積もった雪が多様な生命を育む源泉となっています。この、町を象徴する二つの素材であるブナと雪から共通してイメージできる「白」をキーワードに、町全体を“白い森”と表現しています。



小国町のホームページはこちらです



白い森の国おぐには、これから美しい秋を迎え、色とりどりの鮮やかな景色が見られるようになります。また、きのこや新蕎麦、新米など、美味しい秋の恵みも出そろいます。

飯豊連峰のふもとまで少し足を伸ばすと、癒し効果が立証されている森林セラピーを楽しむこともできます。ふかふかの落ち葉の道を鳥の声や風の音を聞きながら歩けば、ゆったりとした気持ちになり、心からリフレッシュできるでしょう。

春夏秋冬それぞれに、彩りゆたかな絵画のような絶景が広がる小国町に、ぜひ足を運んでみてください。



飯豊連峰と朝日連峰にはさまれひろいひろいブナの森に囲まれた町山形県小国町。

冬になると、そこはしんと降りつもる雪があたり一面を埋め尽くす寒さびしい白い森。



夏になると、そこは白い木肌のブナが涼しげに佇む白い森。

この2つの白を引き立てるのが濃く、淡く、ピンク色に咲き乱れる石楠花 エメラルドグリーンにきらめく川 赤やオレンジに染め尽くされた紅葉のパノラマ 黄金色にかがやく大銀杏



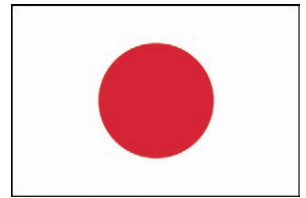
ほかにも数えきれないくらいたくさんの色。色。色。

どこまでも澄んだ空気の中 白いキャンバスと天然の絵の具が作り出す 絵画のような絶景は いまどんな表情をしているのでしょうか。





在日米軍従業員



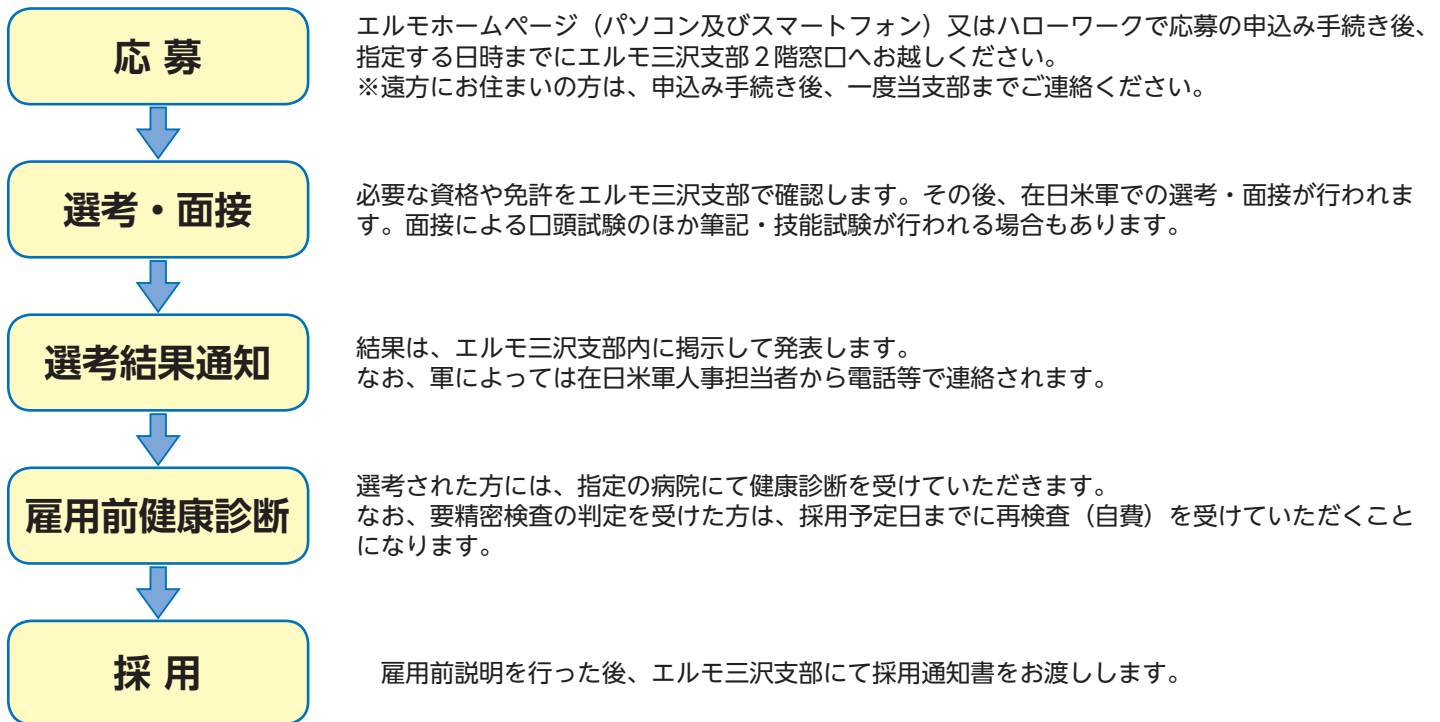
日本の「アメリカ」で働きませんか？

私たち独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】が実施している在日米軍従業員の募集に係る「応募から採用までの流れ」及びエルモ三沢支部管内施設の求人募集情報（一部抜粋）について、ご紹介します。

在日米軍従業員とは、在日米軍の任務遂行のため、国（防衛大臣）に雇用され、在日米軍基地で勤務する従業員です。

現在、約2万6千人の在日米軍従業員が全国各地の在日米軍基地で勤務しております。仕事は、事務・技術・消防・警備等のほか、基地内の売店・食堂の業務など多岐にわたっております。

■応募から採用までの流れ



■エルモ三沢支部管内施設の求人募集情報（一部抜粋）（平成30年9月10日時点）

職種	雇用種類	主な資格要件等	基本給月額
電話交換職	常用従業員	高卒、普通自動車免許(AT限定可)、英検2級以上等	179,200円
地上電子機械工	常用従業員	ダイアグラム・無線の知識、普通自動車免許(AT限定可)、英検準2級以上等	215,800円
電力配分工	常用従業員	第三種電気主任技術者、普通自動車免許(AT限定不可)等 ※英語の資格要件なし	215,800円

※欠員等必要に応じて随時募集しています。エルモホームページにて募集情報を確認してください。

■求人募集情報及び応募は、パソコン、スマホから ⇒ LMOで検索！

エルモホームページアドレス
<http://www.lmo.go.jp>



【窓口応募受付・お問い合わせ先】



独立行政法人
駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】
三沢支部管理係 ☎0176-53-4165（代）

《エルモ三沢支部所在地》



平成30年8月3日付け人事異動により、東北防衛局長以下3名の幹部が着任しました。

東北防衛局長 **伊藤 茂樹**
【内閣官房内閣参事官より着任】

この度、東北防衛局長を拝命いたしました伊藤でございます。東北防衛局は、東北地方における防衛行政全般を担う拠点として、その役割は大変重要であると認識しており、また、地域発展に貢献すべく取り組んでまいり所存です

厳しい安全保障環境や様々な自然災害への対応など、国民皆様からの防衛省・自衛隊に対する期待が高まっていると認識しておりますが、その活動ひとつひとつに対しましては、ひとえに地域の皆様のご理解とご協力あつての賜物と感謝申し上げます

東北地方には、陸海空自衛隊の主要施設や在日米軍施設が所在し、東北防衛局は、各防衛施設と関係する地方公共団体との良好な関係構築・維持のための連絡調整等を行っています。これからも東北地方の皆様より防衛省・自衛隊に対するご理解やご協力が得られるよう、職務に邁進してまいります

今後とも、東北防衛局に対するご支援とご協力を、よろしくお願い申し上げます

【その他の新着任幹部】

総務部長 北澤 直樹 【防衛省大臣官房秘書課人事調整官より着任】

企画部長 藤井 真 【防衛省大臣官房企画官地方協力局地方調整課付より着任】

(伊藤新局長着任時の訓示を受ける東北防衛局職員)

インフォメーション

東北の主な自衛隊広報行事

【平成30年10月～12月】

事前申込み、整理券等が必要なイベントもありますので、お問い合わせください。

開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
10月20(土)	秋田駐屯地創立66周年記念行事	秋田駐屯地 (秋田県秋田市)	秋田駐屯地広報室 018-845-0125(208、219)
12月8日(土)	三沢基地クリスマスコンサート	三沢市国際交流スポーツセンター (青森県三沢市)	第3航空団監理部広報班 0176-53-4121(3313)
12月16日(日)	北部航空音楽隊定期演奏会	むつ市下北文化会館 (青森県むつ市)	北部航空方面隊広報班 0176-53-4121(2320)

